

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回上尾市防災会議	
開 催 日 時	令和8年8月26日（水） 10時00分～10時45分	
開 催 場 所	上尾市役所本庁舎 行政棟7階 大会議室	
議長(委員長・会長)氏名	上尾市長 畠山 稔	
出席者(委員)氏名	●会場参加の委員14名（名簿順・敬称略） 鈴木 一真、武田 敦弘、平野 宏和、山上 博基、目良 聡、西倉 剛、唐澤 伸哉、武智 明子、齋藤 博重、真中 一実、兒島 憲一郎、大井川 健一、大場 玲子、松本 弘子 ●WEB会議システムでの参加の委員13名（敬称略） 栄 幸輝、堀部 弘幸、関根 郁夫、小林 仁子、田中 友紀、畑 健二、本郷 美代子、東 邦彦、内堀 真人、谷川 義哉、池田 直隆、武田 直美、鈴木 康夫	
欠席者(委員)氏名	●欠席者（敬称略）6名 隅藏 雄一郎、平野 修一、早川 伸吾、荒木 大輔、小池 哲哉、矢部 ゆかり	
事務局(庶務担当)	藤波課長、高木副主幹、小林主事、長堀主事、佐藤主査	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	1 開会 2 あいさつ・委員紹介 3 議事 (1) 上尾市地域防災計画の改定について (2) 上尾市国土強靱化地域計画の進捗管理について 4 その他 5 閉会	資料及び説明内容について、防災会議として了承した。
議 事 の 経 過		別紙のとおり 傍聴者数 0名
会 議 資 料		会議次第 資料1 「上尾市防災会議委員名簿（R8.6.6 現在）」、 資料2 「上尾市地域防災計画の改定について」、 資料3 「上尾市国土強靱化地域計画（概要版）」 資料4 「上尾市国土強靱化地域計画進捗状況（令和7年度）」
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 8年 9月 4日 議長(委員長・会長)の署名 _____ 畠山 稔（原本自署）		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会
畠山市長	あいさつ
事務局	会議成立の報告 (出席 27 名、欠席 6 名)
事務局	資料確認
事務局	委員紹介
議長	議事 規定第 5 条第 2 項により、会長の畠山市長が議長を務める。
議長	公開とすることへの同意を求める。
全委員	意義なしの回答。
議長	傍聴人の確認。
事務局	傍聴人なしとの回答。
議長	議事 1 について、説明を求める。
事務局	議事 1 上尾市地域防災計画の改定について 資料 2 「上尾市防災会議委員名簿 (R8. 6. 6 現在)」の内容について説明。
議長	説明に対して意見・質問を求める。
松本委員	直接資料に関する質問ではないが、8 月 21 日の金曜日に上尾市でも大雨が降り、レベル 4 大雨危険警報が発表された。上尾市ではどのような被害が出たのか概要を教えてほしい。そういった情報を知ったうえで、地域防災計画について考える必要がある。
事務局	被害状況については、現在も調査中であるため本日時点で把握している内容となる。時間最大雨量は 27mm、道路通行止めは 3 か所、住家の被害については床上浸水が 10 件、床下浸水が 14 件となっている。 なお、住家消毒やり災証明書発行手続き、災害廃棄物回収等本日も含めて随時実施中である。
議長	意見・質問を求める。
全委員	意見・質問なし。

議長	議事１の承認について、採決を求める。
全委員	挙手全員。
議長	議事１は承認。
議長	議事２について、説明を求める。
事務局	議事２ 上尾市国土強靱化地域計画の進捗管理について 資料３「上尾市国土強靱化地域計画（概要版）」 資料４「上尾市国土強靱化地域計画進捗状況（令和７年度）」の内容について説明。
議長	説明に対して意見・質問を求める。
全委員	意見・質問なし。
議長	すべての議事が終了。
事務局	その他について、２点報告。
事務局	１点目、今後の日程については、１１月中旬に地域防災計画（案）について、委員の皆様へ意見照会を実施し、その意見を基に、案を修正しパブリックコメントを１２月頃に実施する。 パブリックコメントの意見を基に修正した最終案を令和９年２月１０日開催予定の第２回上尾市防災会議にて協議いただく。
事務局	２点目の本会議に係る報酬等については、７・８・９号委員には、条例に基づき報酬等を振込でお支払いすることとなっている。
事務局	全体での意見・質問を求める。
大井川委員	令和７年度から、防災士を年間８０名育成して、地域の防災力を高める事業を行っている。しかしながら、地域の防災士は高齢化が進み、実際に活動できる人数は、資格保持者の一部になっている状況である。市としても、地域の防災力向上に向けて、真摯に取り組んでもらいたい。
事務局	市としても、高齢化の現状は把握している。令和８年度の防災士育成補助金への申込者については、若年層の申込が増えており、５０歳以下の申込者の割合が６２％となっている。 次年度以降についても、幅広い年代の方に受講していただけるよう周知していきたい。
事務局	閉会